



仙台広瀬川ワイズメンズクラブ

2015年12月号ブリテン 通算第55号 2015.12.16



事務所 〒980-0822 仙台市青葉区立町9-7 仙台YMCA内

TEL: 022-222-7533 FAX 022-222-2952

Email: pro-2ty@xui.biglobe.ne.jp: 書記 門脇 秀知

ブリテン: <http://ys-east.jimdo.com/bulletin/sendaihirosegawa/>

第1例会: 毎月第3水曜日・第2例会: 毎月第1水曜日 仙台YMCA 18:45

2015—2016年度 主題 (Theme)

国際会長	Wichian Boonmapajorn (タイ) 「信念のあるミッション」
アジア会長	Edward K.W. Ong (シンガポール) 「愛をもって奉仕をしよう」
東日本区理事	渡辺 隆 (甲府) 「原点に立って、未来へステップ」
北東部部長	中川典幸 (仙台) 「今と原点を融合して未来へ」 — 楽しく改革・笑って行動 —
クラブ会長	佐藤善人 「5年目に向けて」 — 地域奉仕活動4年を振り返り、前へ —

2015~2016年度 クラブ役員

会長	佐藤 善人	地域奉仕	阿部 松男	ブリテン	本野 日出子
副会長	加藤 研	会員増強	村井 伸夫	直前会長	門脇 秀知
書記	門脇 秀知	国際交流	佐藤 剛	担当主事	佐藤 健吾
会計	高篠 伸子	ドライバー	菅野 健	相談役	伊勢 文夫
監査	吉田 俊一	メネット会	松本 京子		

今月の聖句

吉田 俊一

「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。」

ヨハネによる福音書 3章16節

巻頭言

仙台市地下鉄東西線開業

高篠伸子

地下鉄東西線に乗ってみました。いつも利用している南北線から仙台駅で東西線に乗り換え卸町まで往復しました。従来のバスに比べるとすごく快適でした。

私の子どものころは路面電車が市街地のそちこちを走っていて、どこにいくのにも便利でした。

しかし、赤字体質が変わらないとか、交通渋滞の原因だとか言われて昭和51年4月1日廃止されてしまいました。

代わりに登場したのが地下鉄です。市街地の拡大に伴って現在のような南北線・東西線の形になったのだと思いますが、必ずしも市内の主要機関を結んでいるとは言えませんし超高齢社会に対応できるのかという疑問も湧いてきます。

河北記事によれば、地下鉄東西線の利用者は平日初日49,400人、予測は1日8万人とあります。

実際の営業収入と見積もりがこれほど相違すれば早晩廃止が検討されるかもしれません。

そうならないようせっせと地下鉄に乗るつもりです。



11月第1例会報告

在籍者	17名	出席者	10名	メイキャップ	3名	出席率	76%
メネット	名	ゲスト・ビジター	1名	ニコニコ	10000円		

【11月第1例会報告】

日 時： 11月18日(水) 18:45～20:45

場 所： 仙台 YMCA 会議室

出席者： 阿部、及川、門脇、菅野、佐藤剛、佐藤善人、高篠、本野、松本、吉田

◆会員スピーチ

高篠伸子ウイメンのスピーチ

「成年後見制度」について

—成年後見制度は法定後見制度と任意後見制度の2つがあります。法定後見制度は「後見」「保佐」「補助」の3つに分かれています。任意後見制度は本人の判断能力が健常なうちに、判断能力が低下した時に備えて任意後見人や支援内容を、公正証書により契約するというものです。実際に、判断能力が低下した時は家庭裁判所による「任意後見監督人」の選任によって契約の効力が生じます。

成年後見登記制度は法定後見(補助、保佐、後見)及び任意後見に関する事柄を公示するための登記制度。後見に関する情報を「登記」という方法により管理・証明するものです。

—
後見人の仕事の内容等の説明を受けました。「成年後見制度」はこれから高齢化社会を迎えるわが国で、なくてはならない制度でもあり、高篠ウイメン(写真下)は税理士の仕事のかたわら成年後見人の仕事もされております。これまでの経験を踏まえてこの制度について話をして頂きました。

これまで「成年後見制度」の名前は聞いたことがあるがどのような仕組み、制度がよく分からなかったのでタイムリーなお話をしていただきました。(門脇)



菅野メンのスピーチ

「福島原発事故放射能問題に対するお母さんたちの手記」

<この4年間を振り返って～あるお母さんの気持ち～>

お母さん方の手記の紹介(下記)

- ①【得体のしれない放射能との出会い】
- ②【放射能の影響は未知数】
- ③【自分に精一杯できること】
- ④【汚染地域での暮らし～揺れ続けています～】
- ⑤【放射能は何でも壊す】
- ⑥【不安であることが否定されることの苦しさ】

チェルノブイリ原発事故後の惨状を目の当たりにして、今後同様なことが起こりはしないかと心配されます。手記では原発事故が放射能の汚染だけでなくこれまでの生活を破壊し、家族、住民同士で互いに傷つけあってしまう現状が語られ本当に心痛む内容です。県内に原子力発電所を抱える我々としても放射能問題に対して無関心ではいられないとつくづく感じました。(門脇)

<協議・連絡事項>

- ① 12月第2例会日(12/2)が12月7日(月)に変更
 - ② ②12月クリスマス例会について
 - ③今後の予定
 - ・11月21・22日 2015被災地サッカー交流&ユースリーダーズアクト開催
 - ・11月28日(土) 第2回北東部評議会開催
 - ・12月2日(水)第44回仙台クリスマス開催
- ニコニコは10,000円

【第2回北東部評議会が開催】

11月28日(土)13時～16時 宇都宮さくらんぼ幼稚園

43名(委任含)出席、クラブよりは佐藤会長が出席。

協議事項

- ①「YMCAのイメージ」オンライン調査の依頼
- ②CS写真コンテスト作品募集
- ③東日本大震災支援の今後の在り方について④北東部バナー制作については次回評議会に対応
- ⑤次次期部長に宇都宮東クラブ鈴木伊知郎氏に決まった。

【12月第1例会報告】

日時：12月7日(月) 18:45~20:30

場所：仙台YMCA会議室

出席者：阿部、伊勢、加藤、門脇、菅野、
佐藤善人、高篠、本野、吉田

<協議・連絡事項>

① 11/月 21. 22 日

2015被災地小学生サッカー交流&ユースリーダーズ
アクトが東北学院泉キャンパスで約280名が参加して開
催。クラブ参加：加藤、門脇、菅野、佐藤会長、松本
<別掲>

② 11月28日(土)第2回北東部評議会 <別掲>

③ 11月28日(土)

(仮)石巻広域ワイズメンズクラブ 第1回準備例会 YMCA
石巻センターで開催。門脇が参加。

☆ゲストの東日本区直前理事の田中博之氏によるワイズ
活動について講演あり。<別掲>

④ 11月29日(日)

国際・地域協力募金 第2回街頭募金活動。

参加：阿部、伊勢

⑤ 12月2日(水) 第44回仙台クリスマスが仙台市民会館
にて開催され、総勢約380名の参加有。<別掲>

クラブより伊勢、加藤研・真紀子、門脇、佐藤会長、松本
が参加。

⑥ 12月5日(土)「YMCA 小さなクリスマスコンサート」が
立町会館4F ホールで開かれ、加藤メネットが参加

⑦ クリスマス例会は12月16日(水) 居酒屋御酒印船仙台
店にて開催とする。☆オークション大会を行う

企画：伊勢 司会：本野

⑧ 新年合同例会は広瀬川クラブが幹事。

日時：1月20日(水) 場所：長町「びすた〜り」

⑨ BF 使用済み切手収集担当を伊勢、阿部両メンとする。

【石巻新クラブの第1回準備例会を開催】

11月28日(土)17時~19時 YMCA石巻支援センターで
新クラブ『(仮)石巻広域ワイズメンズクラブ』の第1回準備例
会を開催。今期中の新クラブ設立を目指し、これまで準備有
志交流会を5回、準備委員会を7回開催してきましたが、こ
れからはクラブの設立、チャーターに向けてワイズメンズク
ラブとしての活動を実践して行く為の準備例会を開催しました。
例会は通常通り会長の開会点鐘で始まり、ワイズソング、平
井設立準備委員長挨拶、石巻山城町教会の関川牧師によ

る聖句朗読・食前感謝、そして食事と進み、ゲストスピーチ
は東日本区直前理事田中博之氏よりワイズメンズクラブの
目的、組織の説明とワイズの理解をしていただくために「ワ
イズ、何？、何故？どうやって？」と題してパワーポイント
を使って説明をしていただいた。

続いて前回の委員会報告、ニコニコ、誕生祝い、YMCAの
歌、最後に閉会点鐘で会を終了。

参加者は石巻地区9名、3クラブ関係7名、ゲスト2名 計
18名でした。

尚、前回議題となった協力会員制度は次回例会にて協議
をすることとし、今後の例会日程は来年1月23日と2月20
日に開催とした。

例会後、会員同士の親睦を深めるため懇談会を開き、現
状報告と今後の活動について話あい

20時に散会となった。

『2015 被災地小学生サッカー交流 & ユースリーダーズアクト』

11月21日(土)・22日(日)の両日、東北学院泉キャン
パスで3回目となる「2015被災地小学生サッカー交流&ユース
リーダーズアクト」が北東部ユースリーダー、ワイズ関係者ら
多くの方が参加して開催。大会は招待チームの気仙沼市・
鹿折FC、石巻市・湊サッカースポーツ少年団、名取市・関上
サッカースポーツ少年団の3チームと仙台YMCAのサッカ
ークラブ6チームの計9チームで行われた。尚、昨年参加し
た気仙沼シャークスが他の大会と重なり不参加となったの
は残念でした。

一日目は午後からサッカー交流戦(練習他)を行い、午後
2時より「ユースリーダーズアクト」が招待チームの指導者、
ユースリーダー、ワイズ、YMCAスタッフ約30名参加して開
催。研修では招待チームの指導者から「子どもたちの今」と
題して講話をいただき、ワークショップでは3グループに分か
れ「みんなで考える防災」をテーマにそれぞれ討議、発表を
行った。

二日目は秋晴れの下、9時半より9チームでの大会が始
まり、ワイズはそれぞれのチームのサポートをし、子供たち
のひたむきにボールを追っている姿を見て大声を上げて応
援をしていました。今年もメネットコーナーは途中でお菓子が
無くなってしまう程の大人気でした。

尚、大会の結果は優勝が鹿折チーム、準優勝が関上チ
ーム。大会の参加者は約280名でした。(写真次ページ)

2015 被災地小学生サッカー交流&ユースリーダーズアクト



編集後記 師走の仙台市内で実業団駅伝が行われました。地元チームも出場すればいいのと思いました。地元の楽天・ベガルタの来季の活躍を期待します。何と云って羽生選手というお手本があります。H. H